



認知症サポーター・ステップアップ講座

その命、救えるのはあなた！

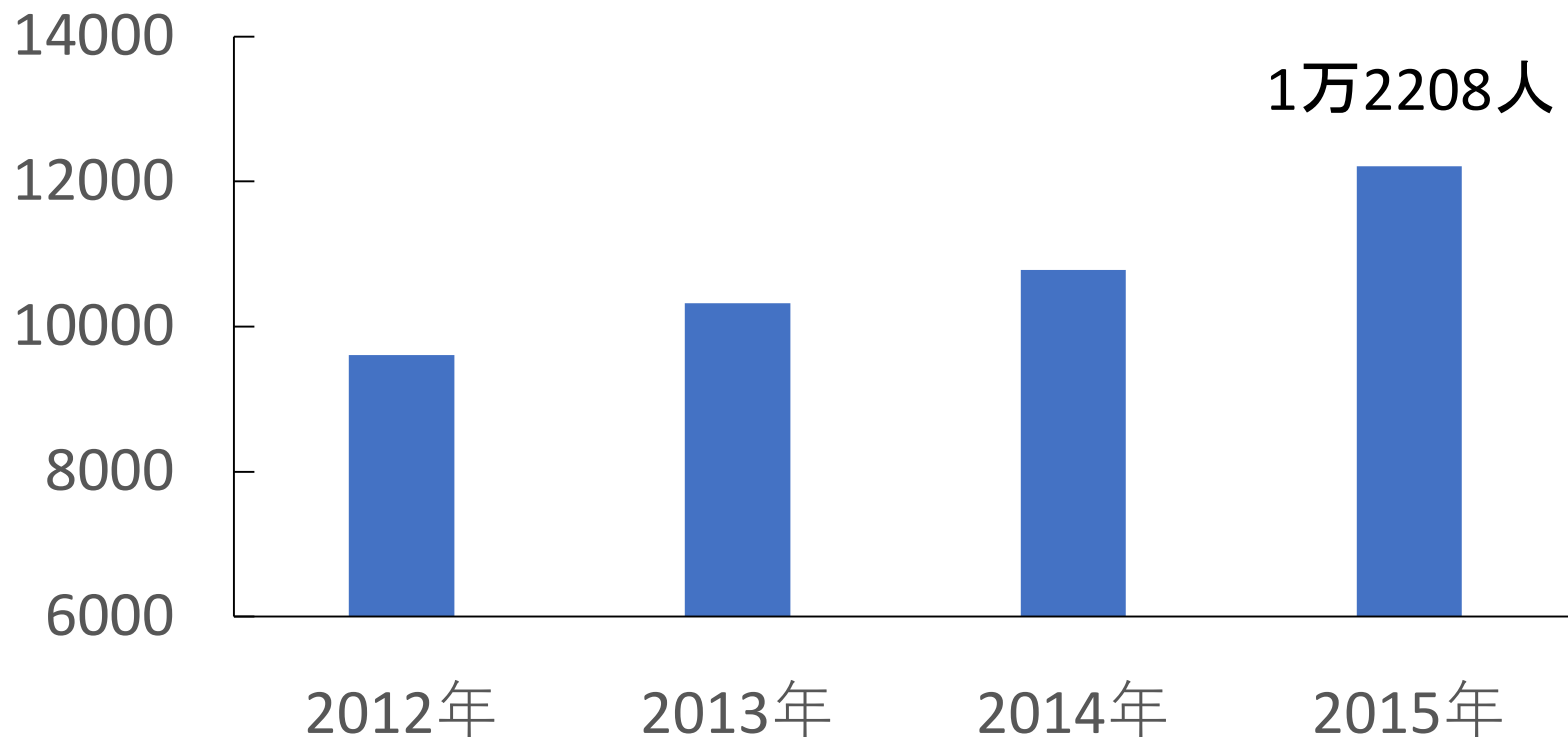
徘徊SOS

道に迷っている高齢者への対応方法



企画・制作：群馬県立県民健康科学大学

認知症による行方不明者は年間1万人超、死者は400人以上



2015年に所在が確認されたのは1万2121人、うち死亡確認は479人

データ引用：警察庁生活安全局生活安全企画課，平成27年中における行方不明者の状況。

認知症高齢者の徘徊に関する実態調査

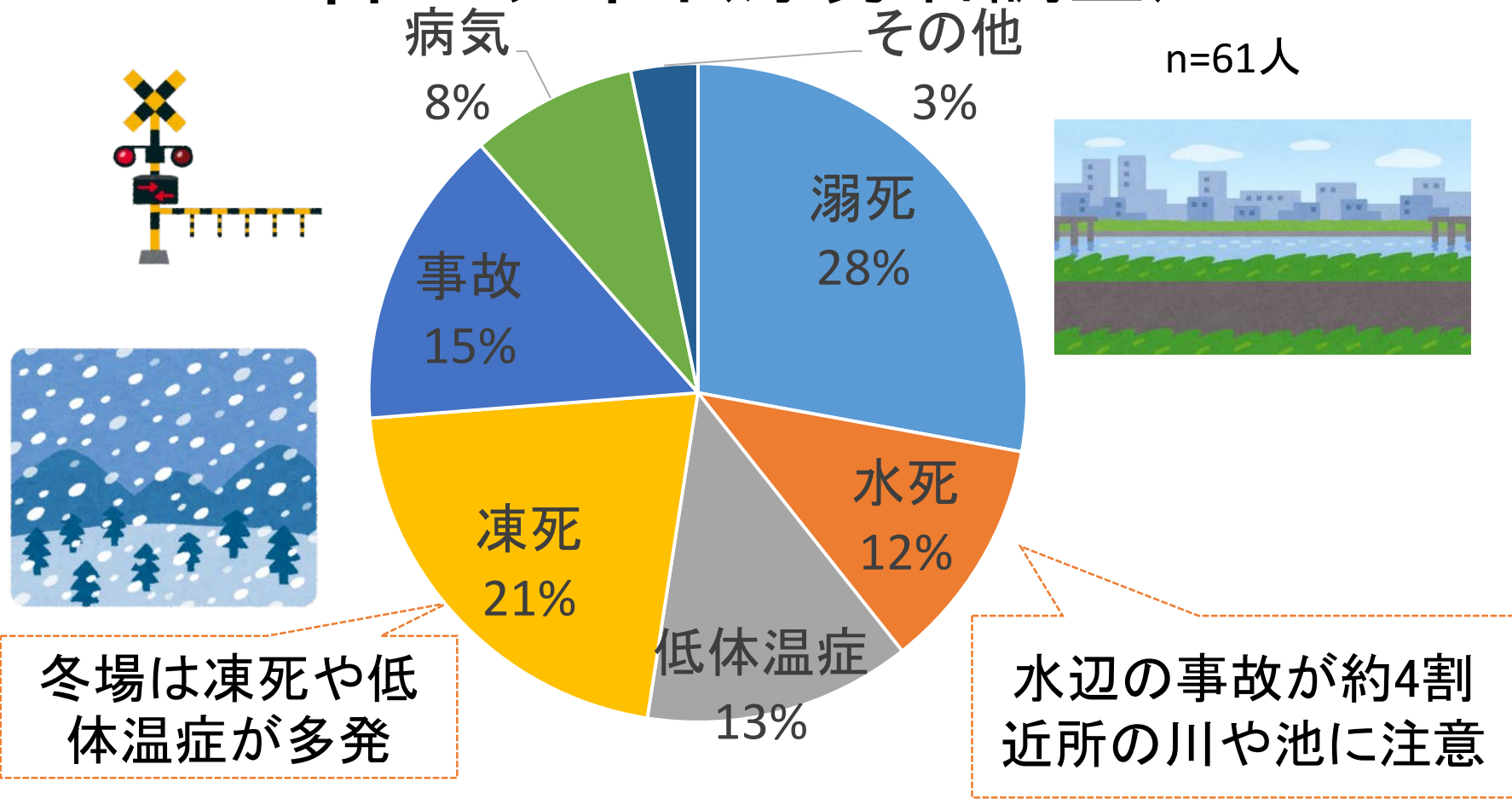
(厚生労働省科学研究費補助金認知症対策総合研究事業)

代表者 鈴木隆雄 (国立長寿医療研究センター研究所長)

- 調査の概要: 2013年度中に認知症が疑われる状況で警察に行方不明者届が出された1万322人のうち、死亡した388人の家族に調査票を郵送し、全項目で回答のあった87人中、死因の記載があった61人を分析

データ引用: 日本老年医学会雑誌 53(4), p363-373, 2016.

認知症で行方不明になった死亡者の死因(厚労省調査)



データ引用: 日本老年医学会雑誌 53(4),p363-373,2016.

行方不明になった死亡者が行方不明になった時間(厚労省調査)



20-24時
5%

不明等
11%

0-4時 n=61人
12%

4-8時
11%

8-12時
7%

16-20時
26%

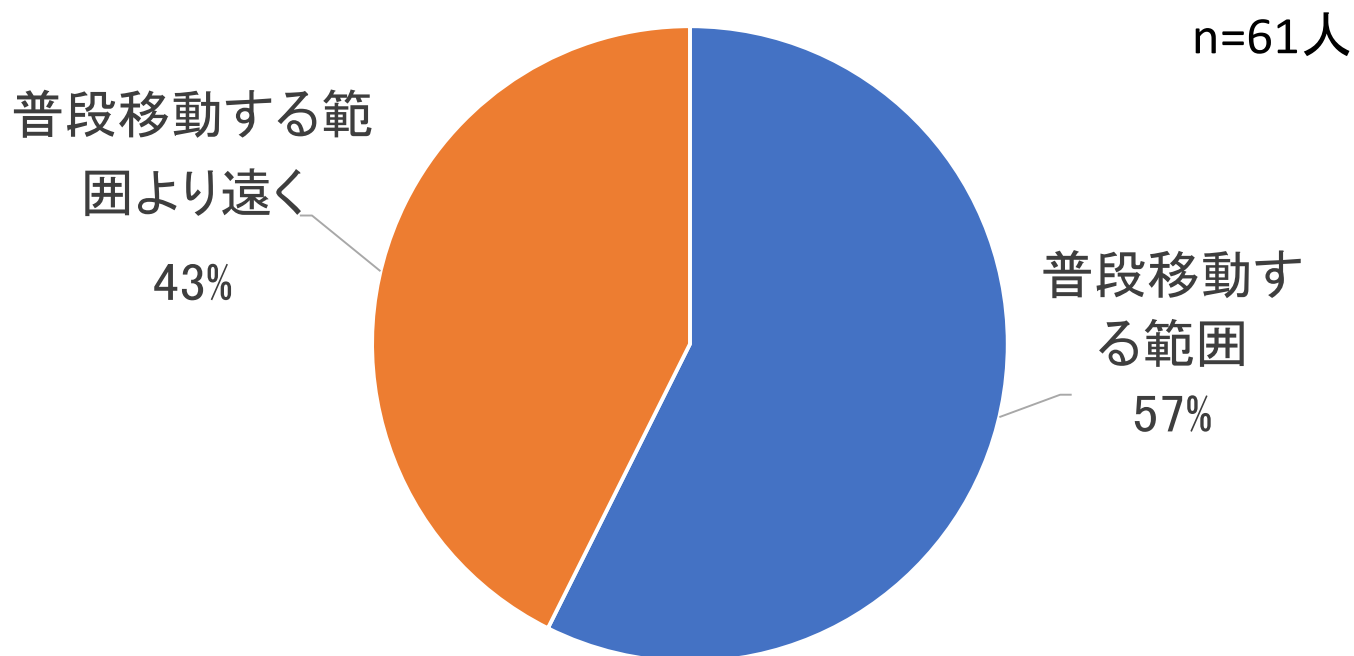
12-16時
28%

午後から夕方が半数以上で「夕暮れ症候群*」の時間帯が目立つ



* **夕暮れ症候群**: 夕方暗くなる時間帯頃から、認知症の人はソワソワ落ち着かなくなり、徘徊や帰宅願望の症状が出やすくなる

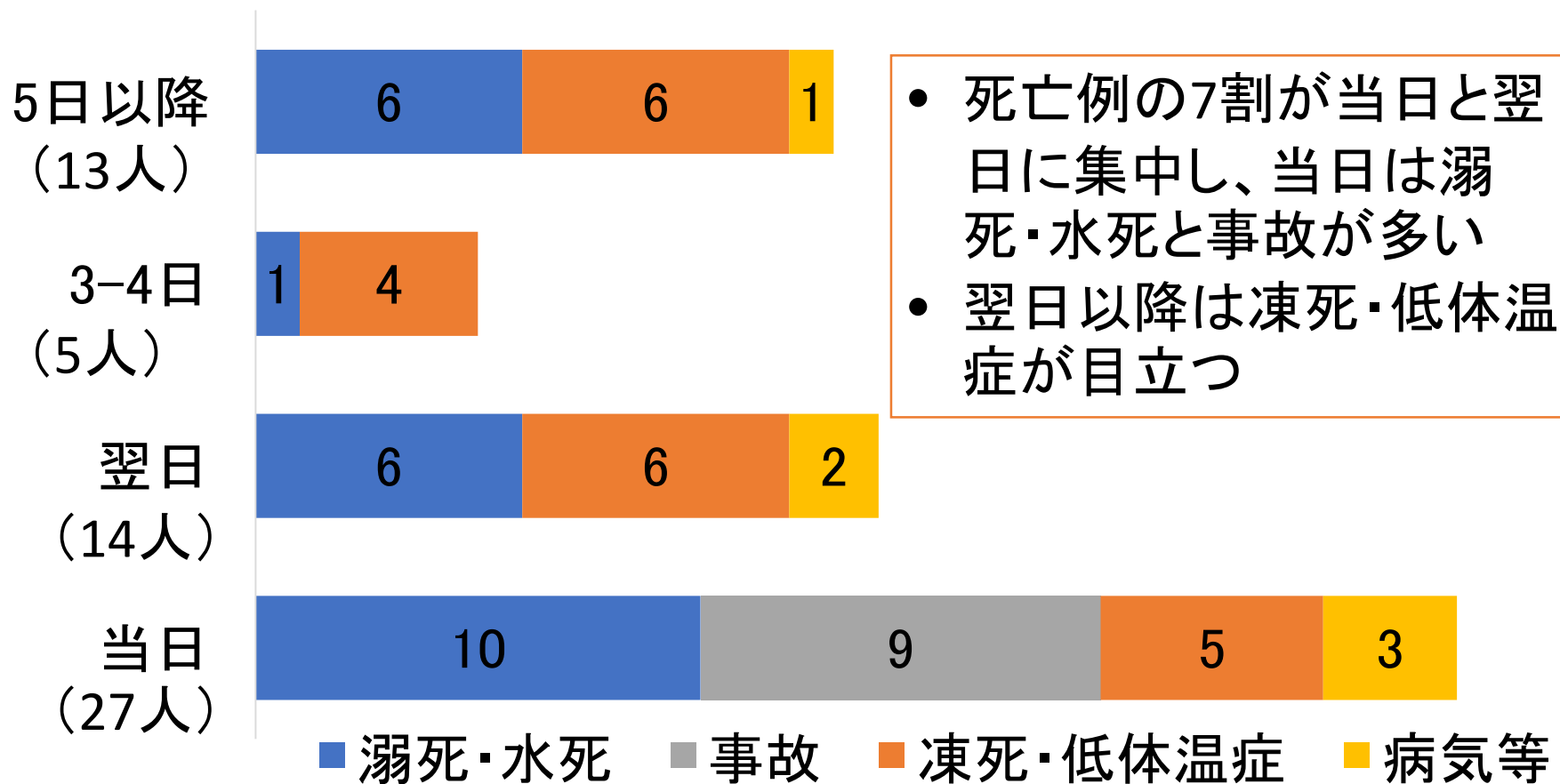
行方不明になった死亡者が発見された場所(厚労省調査)



- ・死亡した人の6割は普段の移動範囲内で発見されている
- ・発見者の半数は家族や捜索関係者以外 →救うのは私たちです！！

死亡推定時刻との死因の関係 (厚労省調査)

死亡時期が不明の2人を除く59人の分析



あ、危ない！車道を歩く高齢者



高齢者の命を救う思いやり110番



おばあさんが車道を歩いています。危ないと言っても聞いてくれません！

命を救う



思いやり110番通報

危ない!!と思ったら
迷わず**110番**



保護を必要としている
高齢者



道路で遊んでいる
子供達



お酒に酔って道路で
危険な行為をしている人

警察への相談・要望等は#9110

- 車道を歩くなど、危険な場面を見かけたら、ぜひ迷わず110番通報を！
- あなたの電話が高齢者の生命と、加害者になるかもしれない人とその家族の人生を守ります！

群馬県警察



徘徊が生じる理由

- 物忘れによって慣れた道でもわからなくなってしまう、道に迷って帰れなくなってしまう
- 目的があって行動をしたものの、そのうちに目的を忘れて歩き回ってしまう
- 見当識障害により場所や時間がわからなくなり、仕事や買い物、子供の迎えに行かなくてはと思い込んでしまう
- 特に夕方は不安や焦燥感が出やすく、情緒が不安定となり、じっとしてられない
- 退屈さや居心地の悪さ、居場所や役割がないなどが引き金となりやすい

徘徊に気づくための重要なサイン

- 雨の中、傘もささずに歩いている
- はだしやスリッパ、左右が合わない靴
- 夜間・早朝など散歩と思えない時間に歩いている
- 交差点で首をかしげているなど道に迷った様子がみられる
- 同じところを行ったり来たりしている
- 季節や気候にそぐわない服装をしている
(夏なのに厚着、寒いのに薄着)
- 普通は立ち入らないような場所にいる



徘徊による危険の防止対策

- 驚かせたり警戒心を与えないよう正面から優しく声をかけ
- 行動の目的や本人の思いをよく聞き気持ちに共感する
 - 「どうしましたか？」「どちらにお出かけですか？」
 - 「それは大変ですね」「ご苦労様です」
- 名前や住所が伝えられない場合は洋服や靴などに連絡先がないか確認
- 認知症が進んでいても自宅の電話番号は言えることがある
- 家族や警察署への連絡により安全を確保
(放っておけないと感じたら迷わず「思いやり110番」)

認知症高齢者等行方不明者手配専用メール配信

上州くん安全・安心メール 登録者募集中!!

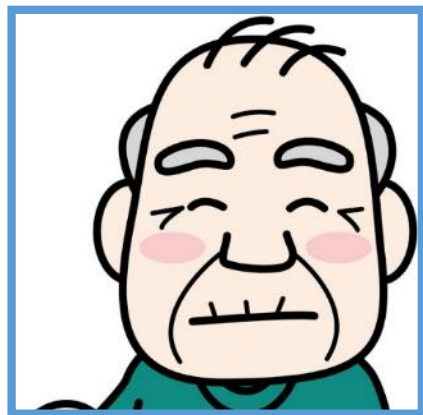
群馬県警では通学路等で発生した不審者情報や交通安全情報などを「上州くん安全・安心メール」でEメール配信しています。配信を希望される方は右の「QRコード」からアクセスのうえ登録していただき、自主防犯活動などにお役立てください。



登録用QRコード

登録した警察署管内・外の行方不明者情報を緊急性に応じ24時間配信（ぜひ登録を！）

群馬県警 上州くん 安全・安心メール



行方不明者の再手配（画像手配）について

2017年3月13日 14:26

■■■■市在住の

■■■■さん 82歳 男性

が、昨日（12日）午後2時00分ころから、赤色の自転車で外出したまま、行方がわからなくなっておりますので、その発見にご協力をお願いします。

○特徴

■身長 165センチメートル

■体格 やせ型

■髪型 白髪短髪で禿げている

■服装等

上衣 白色ジャンパー

下衣 紺色ズボン

履物 茶色のスニーカー

帽子 キャップ帽子

■赤色系軽快自転車使用


○顔画像

下記URLをクリックすると画像が閲覧できます。

<https://www.police.pref.gunma.jp/seianbu/01>

Q: 認知症かどうか分からない高齢者にはどんな風に声をかける？

勘違いがあったときに気まずくならない工夫は？




こんにちは。近所の者ですが、
何かお困りですか？

道案内しましょうか？

いえ、大丈夫です。たまには知らない道を歩いてみたいと思ってね

おばあさんの冒険です



そうでしたか。冒険なんて
素敵ですね！

道が細いので、お
気を付けてね！

認知症の人にやさしい地域は、誰にとっても住みやすく、温もりや優しさが感じられる地域です。

認知症サポーターの皆さんは、魅力的で住みよい地域づくりの原動力です！

<出演>

ヨロコンデぶっち

花澤町子

<演出・脚本>

岩淵健二

<企画・制作>

群馬県立県民健康科学大学

狩野太郎(企画・制作統括)

佐藤正樹(撮影・管理)

清塚 遊(撮影補助)

引用文献

- 警察庁生活安全局生活安全企画課, 平成27年中における行方不明者の状況, p3, 2016.
- 菊地和則 ほか, 認知症の徘徊による行方不明死亡者の死亡パターンに関する研究, 日本老年医学会雑誌 53(4), p363-373, 2016.

認知症サポーター・ステップアップ講座教材 5



群馬県健康福祉部地域包括ケア推進室

<カリキュラム・教材開発事業担当>



群馬県立県民健康科学大学地域連携センター・看護学部

事業調整担当：教授 齋藤 基（地域健康看護学教育研究分野）

企画・制作代表：教授 狩野 太郎（生涯発達看護学教育研究分野）

制作担当： // //（ // ）

講師 佐藤 正樹（看護技術学教育研究分野）

助教 清塚 遊（生涯発達看護学教育研究分野）

企画・制作：群馬県立県民健康科学大学 平成29年6月